

国語の出題について 帰国子弟入試

中等科国語科の教育目標

自分の意見を適切に説明することができるようになる。
文章を読んだり、話を聞いたりして、理解できるようになる。
日本の文化に親しんだりする態度を養う。
生涯にわたり読書に親しむ態度を養う。

入試の目的

- ① **言語についての知識・理解・技能**
漢字、文法、語意、ことわざ など
 - ② **読む能力** 選択肢問題、適語補充問題 など
 - ③ **書く能力** 論述問題、あらすじ、要約 など
- ※帰国子弟入試のみ作文の出題があります。
受験生に学習院で学ぶ力が**バランスよくあるか**を見ている

出題内容

- ・試験時間(50分)
- ・文章読解問題……(25分)
- ・作文……(25分)

出題方針と特色I(文章題25分)

- ・一般入試より若干簡単な問題。※小学校5年生修了目安。
- ・出題傾向は一般入試と同じ。
- ・「文学的文章」または「説明的文章」より1題を出題することが多い。
- ・一般向けの文章からも出題する。
- ・「漢字の書き取り」の範囲は小学校5年生まで。約8題を出題。
- ・「記述式問題」が多い。部分点がある

5つの対策

- ① **読書**……文章の型を覚える
様々なジャンルの出題への対応
- ② **会話**……大人の価値観を身につける
説明的文章は大人の価値観で書かれている
- ③ **要約**……文章全体を〇〇字で要約
「(視点人物)が〜物語」

5つの対策

④「日記」をつける(気持ちを中心にまとめる)

- ・記述の苦手意識を克服する
- ・親子で話し合い、大人の価値観を身につける

〈書き方〉 **事実**(出来事、会話、見えた風景等)と
心情(その時の自分の気持ち等)を入れて書き、
大人が感想を書いてあげる

④「日記」の例1
 【文学的文章への対策】

(例)
 ・途中で珍しい花を見つけた
 ・友達と好きなチームの話をした。

大人の感想
 ・発見したこと、うれしくなった。
 ・共通点を見つけた。ちがう点を知った。

④「日記」の例2
 【説明的文章への対策】

(例)
 関心を持った記事(できれば要約)

自分の意見に対して予想される反対意見を考えてみる

その記事に対する自分の考え

反対意見をふまえた最終的な結論

大人の感想

GAKUSHUIN BOYS' JUNIOR HIGH SCHOOL

5つの対策

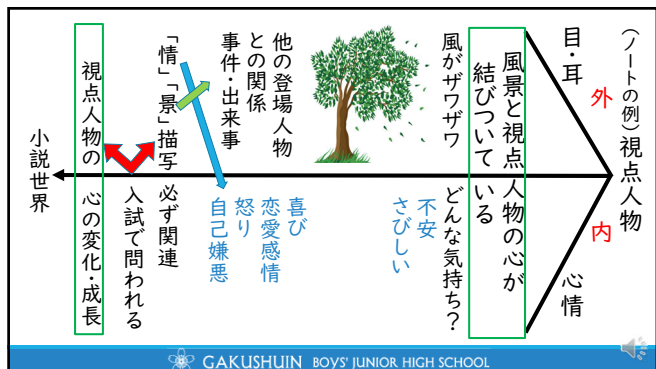
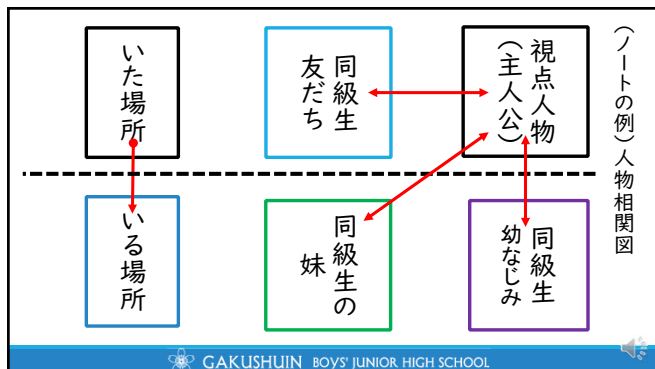
⑤過去問...ノートに文章を分けて書く。

文章を視覚的にとらえられるようになる

⑤ノートに文章を分けて書く(例)

文学的文章

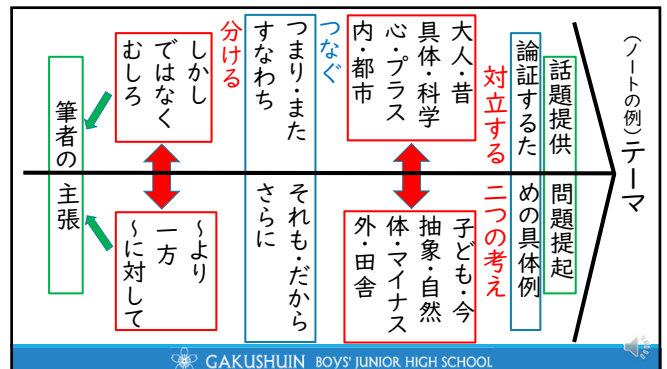
- ・視点人物(主人公)の成長や心の変化を読み取る
- ・周辺人物との関係性の変化を読み取る
- ・置かれた場所の変化・比較を読み取る



⑤ノートに文章を分けて書く(例)

説明的文章

- ・対立する二つの考えを覚える
そして、それらを分けながら読めるようになる
- ・二つの意見の共通点や相違点をまとめる練習をする
- ・二つの意見を取り入れた筆者の最終的な意見はどこか



出題方針と特色2(課題作文25分)

- ・課題に対して自分の経験や考えをまとめる。
 - ・外国と日本の双方の体験を対比する出題が多い。
- 過去の課題
- 2022 ぼくが外国でふしぎに思ったこと
 - 2021 ぼくが外国で心に残ったこと
 - 2020 ぼくが外国でおどろいたこと
- 与えられた課題に対し、自分で題をつけて答える。

対策(課題作文)

- ①書く習慣を身につける。
日記に加えコラムの要約など、100字程度でよい。
毎日続けることで「書く」習慣、力が身に付きます。
- ②文章の構成を身につける。
制限時間内で書くので、あらかじめ構成を考えてから書き始めるといいでしょう。配布されたメモ用紙に構成を書いてから書きはじみましょう。
25分で600字程度は書けるようにしましょう。

メッセージ

受験生の皆さんへ

- ・自分について振り返る習慣をつけ、それを言葉にまとめましょう。
- ・最後の最後まであきらめず、自分を信じて地道な努力をつづけていきましょう。

保護者の皆さんへ

- ・子どもが上手に話せるように「聴く力」が大切です
- ・この子は必ず伸びると最後の最後まで信じてください